

挑む部だより

令和8年6月16日 No.2

挑む部では、今年度も「主体的に学び・活動する子どもの姿の実現」をねらいとして活動を進めていきます。挑む部だよりでは、先生方の助けになるような情報発信を目指しています。今回は、子どもたちが日々の生活の中で挑んでいる姿を紹介します。先生方の情報共有のきっかけにいただければ幸いです。

① 本気で挑む姿

先月末に運動会が行われました。先生方には日々の授業の中でのご指導、そして何より、前日の大雨の中での準備作業等、本当にありがとうございました。当日は、天気にも恵まれ、グラウンドコンディションも整った中で実施することができました。子どもたちも、応援や種目の中で全力を出し切ることに挑んでいたと思います。多くの挑む姿が見られた運動会でしたが、応援団長の二人の姿が特に印象的でした。4月半ばから応援団長となり、練習日程ややるべきことを整理しながら計画的に準備を進めていました。応援団の練習、全校の練習、どんな時も先頭に立ってリードする姿は頼もしい限りでした。これだけでも応援団長として立派な姿ですが、運動会二日前に、団長二人で私のところに来て、「運動会に向けて全校を盛り上げるために、運動会前日のお昼に放送をしたい」という相談をしてくれました。昨年の応援団でそのようなことを行っていません。また教師からの提案でもありません。彼女たちが応援や全校と1か月半本気で向き合った結果、「やりたいこと」として出てきたことだと思っています。本番の白熱した応援合戦を振り返ると、彼女たちの熱い思いは全校に届いていたのだと思います。このように、子どもが本気で取り組む先に「やりたい！」が生まれるのであれば、授業の題材選びや日々の生活での声掛けに工夫ができるのではないかと感じた出来事でした。

② 自主学習に挑む姿

江南小学校では、学年×10分の家庭学習が目標とされています。中学年くらいになると、宿題だけではその時間には達することができず、自主学習が必要になってきます。自主学習は、自分に必要なことは何か考え、自分で工夫して取り組むという、今後多くの場面で必要とされる、まさに「挑む」力を身に付けることができる学習です。しかし子どもにとっては本当に難しい学習でもあります。昨年度4年生を担当した時も、多くの子が、「自主学習がどういうものかは分かっている。やった方がよいこともなんとなく感じている。けれど、何をやったらよいか分からない。やる気が起きない。」などの理由からなかなか取り組めていない様子でした。そこで4つのことを実践してみました。

・自主学習のメニューを作る

子どもたちと今までの自主学習の経験を振り返りながらどんなことができるか考え、メニューとしてまとめ、自主学習ノートに貼ります。

・授業中に自主学習に取り組む時間を設定する

家で一人だと取り組めない子が多いので、学校で友達と一緒に取り組むことで、始めるきっかけとなったり、友達の内容を参考にしたりできます。

・自学タワー（達成度を可視化する）

1冊終わったノートを積み上げていき、クラス全体の達成度を可視化できるようにすることで、やる気にもつながります。一人一人目標冊数を決め、合計した数をクラスの目標として設定もしました。

・自学ノート交流会

週に一度、朝学習の時間に自学ノートを見せ合う時間を設けました。友だちの学習内容や書き方を参考にできます。友だちに見せるためにやらなければならないという気持ちにもつながったようです。

昨年度の4年3組では1年間で、一人3冊程度取り組むことができました。本来自主学習は、自主的に自分で考えて取り組むものです。しかし最初にも書いた通り小学生にはとても難しいことだと思います。まずは、取り組むきっかけを作り、様々な学習内容や方法を教えたいと思っています。学習の内容や質より、自分で学習を選択して取り組んだことを評価していきたいと考えています。昨年度の子どもたちは、まとめ方が上手だったり質の高い学習をしていたりする子は多くなかったですが、隙間時間を見つけると自主学習ノートを広げ、自分の好きな学習に楽しそうに取り組む姿は多く見られました。

今後も必要とされる自主学習の力ですが、どんな取り組みが効果的であるのか私自身がまだまだ模索中です。様々な実践をされている先生がいらっしゃるので、ぜひ教えてください！挑む部としても、先生方の実践を共有する時間を設けていきたいと考えています。

（挑む部 大平 万柚子）